

2022年3月30日

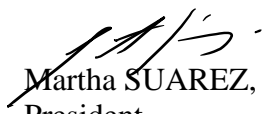
総務省 陸上無線通信委員会事務局 御中

総務省 6GHz 帯無線 LAN の導入のための技術的条件に対する DSA のコメント

Dynamic Spectrum Alliance (“DSA”¹)は6GHz 帯無線 LAN の導入のための技術的条件に対するコメントを以下の通り提出させていただきます。

Dynamic Spectrum Alliance は 6 GHz 帯に免許不要の枠組みで無線ローカルアクセスシステムのための追加の周波数を割り当てる決定が行われたことにお祝いを申し上げるとともに、総務省がこの重要なマイルストーンを達成されたことを賞賛いたします。この大切な第一歩に加えて、6425-7125 MHz の開放、LPI 向けのクライアント間通信、AFC を用いたスタンダードパワーモード (SP モード) の検討を推進していくようお願いさせていただきます。3 つのデバイスクラス (LPI、VLP、SP) は Wi-Fi が利用可能なデバイスを使った 6 GHz 帯のシステム展開の機会を最大化するとともに、日本における次世代サービスを実現するための役割を担うこととなります。

6 GHz 帯全体をアクセス可能とすることは、最新の免許不要無線アクセスシステム/無線ローカルエリアネットワークシステム (WAS/RLAN) とその発展のために非常に重要な要素です。1200 MHz 全帯域が mid-band WAS/RLAN や他の免許不要利用者の予想される需要を満足するために必要となります。また、Wi-Fi 7 端末で実現可能となる 320 MHz チャンネルの利用もサポートできるようになります。もし 5925 – 6425 MHz の 500 MHz のみが利用可能である場合、1 つの 320 MHz チャンネルのみにしか対応ができません。1200 MHz 全体が 6 GHz で利用可能な場合、3 つの 320 MHz チャンネルが実現可能となります。


Martha SUAREZ,
President,
Dynamic Spectrum Alliance

¹ The Dynamic Spectrum Alliance (DSA) is a global, cross-industry, not for profit organization advocating for laws, regulations, and economic best practices that will lead to more efficient utilization of spectrum, fostering innovation and affordable connectivity for all. A full list of DSA members is available on the DSA’s [website](#).